

1学年だより

夢の宅配便

1年学年主任
水野 喜代治

意地悪はしない

人には、それぞれ個性があり特徴があります。また個人差もあり物事に対して得手不得手もあります。自分とまったく同じ考えの人や感覚の人は存在しません。ですから集団をよく見れば「どうして、そう考えるのだろうか?」とか「なぜ、こんなこともできないの!」と感じてしまうことも時にはあると思います。一人一人が違うということからすればあって仕方がないことだと思います。自分自身も「なかなかうまくできない!」「自分の考えがみんなと違う?」と感じることもあるでしょう。大切なのは、自分と違う一面を持った人を否定するのではなく、受け止めたり、受け入れたりしていくことだと思います。人はみな違うのだから、その人の考えや感覚を否定して「気持ち悪い!」とか「なにあの人、うざい!」など自分と異なる人の存在を否定することは許されることではありません。自分に対して意図的に嫌がらせをしてくるとか、わざとこちらをイライラさせてくるなら、意地悪な相手に「やめてください!」とか「あの人は、嫌がらせをしてくるので距離を置く」などの言動を示すことは理解できますが、相手が意地悪な気持もなく、行動が遅かったり、会話が上手にできないなどの事をとらえて、相手を打ち消す行為をすることは、その行為をする人が意地悪ということになります。人間関係をスムーズに作れる人もいれば、上手に人間関係を作るのが苦手な人もいます。明るく元気いっぱいの雰囲気の人もいれば、おとなしくて内気の人もあります。それぞれの人の個性を認め合って生活して欲しいと思います。いろいろな個性を認められる人は優しい人だと思います。そういう人のまわりには多くの人が集まります。しかし、自分と異なる人の個性を認めず否定してしまう人は、常に限られた人としてしか親しくなれません。周りの友達を受け止めて、受け入れていますか。友達を「きもい」とか言って否定していませんか。「あの子きもくない?」とか相手を否定する話をしている人がいたら「相手を否定する言い方はよそうね。」と言ってあげましょう。大人の社会は認め合う社会です。人を認める心を大事にしてください。もうすぐ大人の社会に仲間入りするのだから。